営農技術情報

令和８年９月１日
宗谷農業改良普及センター
本　　所（℡01634-6-1414）
北部支所（℡0162-82-2119）

牛サルモネラ症に注意！

これからは、夏季の暑熱ストレスの蓄積で牛の免疫力が低下しやすくなります。また、高温多湿により菌が増殖しやすい時期はまだ続きます。しっかり対策して牛サルモネラ症の発生を防ぎましょう。

１　宗谷管内の牛サルモネラ症発生状況

宗谷管内では令和３年以降毎年牛サルモネラ症が発生しており、令和５年からは９月以降も発生しています（図１）（令和８年８月現在、発生なし）。

主な症状としては、40℃前後の発熱、水様性の下痢や粘血便などがみられます。搾乳牛では、食欲低下により乳量が減少します。

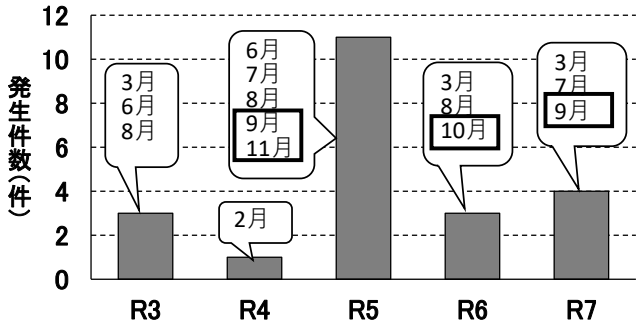

図１　宗谷管内における牛サルモネラ症発生件数
※吹き出し内は発生月
（宗谷家畜保健衛生所より）

２　予防のポイント

（１）菌を農場内に持ち込ませない

【人間や野生鳥獣が農場内に菌を持ち込む可能性があります】

- 畜舎入口や窓に防鳥ネット等を設置して、野生動物の侵入を防ぎましょう。
- 畜舎入口に踏込消毒槽を設置して長靴を消毒しましょう。
- 農場入口に石灰帯を設置して車のタイヤを消毒しましょう。

（２）菌を拡散させない

【感染牛の菌が水槽や飼槽を介して感染が広がる可能性があります】

- 水槽やウォーターカップはぬめりのないようにこまめに洗浄しましょう。
- 飼槽を衛生的に保つために、少なくとも１日１回は清掃しましょう。

（３）牛の免疫力を低下させない

【牛の採食量が低下すると免疫力が低下し、菌の感染リスクが高まります】

- 粗飼料分析の結果に基づいて、乳量やライフサイクルに応じた十分な栄養を給与しましょう。
- 適宜飼槽を確認し、常にエサが食べられる状態にしましょう。
- 暑熱対策をしっかりとりましょう。

普及センターHP
もご覧下さい